

広報おばま

OBAMA

1

No.865

Jan.2026

みんなで描く、悠久の歴史と風土が活きるまち ～新たな時代の御食国 若狭おばま～

【特集】

未来につながる小浜の教育



特集『未来につながる小浜の教育』

小浜の教育を受けた卒業生に聞く

高校を卒業し、現在、地元や県外、国外などさまざまな場所です。日々奮闘する小浜の若者たち。今回は、村宮汐莉さん、中道連さん、桑田真琴さんの3人が、小坂康之教育長と小浜が誇る教育を語ります。

地域の資源を教育に

小坂教育長（以下小坂） 小浜市では約50年前から「子どもが主役の教育」に取り組んできました。また、現在も、子どもや保護者、教職員、地域の人の声をもとに教育大綱（目標）を策定しています。これまでに、『広報おばま』内でも紹介させていただいたように、小浜市ではたくさんの特長ある教育が実践されています。連載を続ける中で、「小浜の教育を受けた子どもたちは、卒業後、どう成長しているのだろう」、「子どもたちは、

当時の学びをどう捉え、変容し、大人になった今の自分とどのようなつながっているのだろうか」という問いが私の中に生まれました。そこで今回は、小浜市で教育を受け、現在国内外で奮闘する3人にお話を伺いたいと思いました。

まずはじめに、皆さんが小浜市の教育を振り返ってみて、小中学校で最も覚えていることは何でしょうか。

村宮さん（以下村宮） 私は、小学校の総合的な学習の時間に、自分たちで鯖街道をはじめ、小浜の歴史の調査を行い、ポスターや新聞などを作った、歴史の部分での学習が印象に残っています。

て思い出すことが多いと感じます。

具体的には、観光で何ができるか聞かれたときには、蘇洞門めぐりができるとか、三丁町という小京都みたいな町並みを楽しめるとか。他にも、サバが有名だと知らない人には、古くから「鯖街道」という街道を通して魚介類などを京都に送っていたことなど、県外に出て、自慢したい目的で、誇らしげに話すことができるのは、小学校の頃取り組んだ学習が根幹にあるのかなと思いますね。

中道さん（以下中道） 僕は中名田小学校で、自分たちでつくった米を、アフリカの国に送ったことを覚えています。

他には、給食で地元の野菜を使った献立が多かったことなど。食材を、地域の誰がつくっているのか、誰が調理しているのか、顔が見えることで、「食」に対する感謝の気持ちを持

つことができました。

小坂 学校での稲作は、ふるさと学習の一環として続いており、現在では、米をクッキーに加工して販売もしているんですよ。

桑田さん（以下桑田） 私は小学校の頃、水産高校や県立大学、地域のひとと一緒に、アマモを植える学習に取り組んだことを覚えています。

そこで初めてアマモという海藻に触れて、海をきれいにしたり、魚のほか、カニやエビなどの甲殻類にとつてのすみかになったりするアマモが果たす役割を学ぶことができ、アマモを通して小浜の自然を身近に感じた学習だったなとも思います。

小坂 当時私が関わらせてもらい、中学校の先生方と高校が連携した取り組みで、よく覚えています。

村宮さんは歴史、中道さんは食、桑田さんは自然環境と地域内での連携という部分で、それぞれ小浜の良さがうかがえる回答をいただきました。皆さんが小学生だった当時、地域資源を生かした教育をすでに実施していたことは、とても先進的だったと思います。

皆さんの話から、特に小学校の記憶が鮮明な印象を受けますが、中学校での教育はどうですか。

村宮 中道さんの話を聞いて、食育の学習があったことを思い出しました。食育を学ぶ一環で、カニをむいたり、タイを丸ごと1尾さばいて食べたりする学習があつて小浜ならではの学習だと思います。小中学校いずれも食育に力を入れていたんじゃないかなと。

桑田 地場産食材を使った給食の日があつて、そこで初めて知る食材や野菜があつたり、生産者を知ったりすることができました。給食をより一層おいしく、感謝とともに味わうことができたおかげか、現在嫌いな食べ物がないです。

小坂 皆さん周囲に支えられていたという点で「地域」というキーワードが出てきますね。

中道 アメリカに渡って、日本の東京や大阪、北海道、沖縄など、さまざまなところから来る人と出会い、話をしますが、小浜の教育は、特に地域との関わりが強いと感じます。

村宮 汐莉さん

- 小浜小学校、小浜中学校を卒業
- 静岡県菊川市在住
- 現在は地域教育コーディネーターや地域おこし協力隊として同市の教育現場の支援に携わる



中道 連さん

- 中名田小学校、小浜第二中学校を卒業
- アメリカ合衆国カリフォルニア州マーセッド市在住
- 現在は Merced College に在籍し、野球と勉学に勤しむ



桑田 真琴さん

- 小浜小学校、小浜中学校を卒業
- 小浜市在住
- 大阪への進学・東京での就職を経て、現在は桑田テント株式会社（千種1丁目）に勤務



小坂 今、振り返るとそう思うのですね。では、よく覚えていることで、現在につながっていることはありますか。

中道 食に関して知る、学ぶ機会が多かったこともあり、現在の体づくりに生かすことができていると思います。この食材からはこういう栄養素が摂れるとか、筋力アップや疲労の回復にはこの食材とか。アメリカでは、コーチから指摘されることが

なく、自己管理しなければならぬので特にそのことを実感します。

桑田 何事にも責任を持ってやらせてもらった経験かなど。

小学校の運動会で団長をした際に、自分でやりたいことを先生や友達がいいよと言ってくれて、失敗を恐れずにチャレンジできる環境でした。何か失敗すると、落ち込むこともありましたが、何事も一回挑戦するといことが、今の私の主体性につながっていると思います。

村宮 私も同じく、どんなことでも「どうやってしようか」と、一緒に考



▲今富小学校「生き物調査」

残っています。

言い方が悪いですが、私みたいな勉強が苦手な人でも、直接現場に赴き、地域のひととの交流を行うことで、主体性や行動力が身に付きました。座学だけでは養うことができない力を身に付ける大事な学習だと思います。

今後の小浜の教育

小坂 これからの小浜市の教育に關し、期待していることや、大事にしてほしいことはありますか。

中道 野球の話になりますが、僕は現在、試合のレギュラーメンバーの選考などが行われるオフシーズンで、他にはない自分の特徴を、コーチや他のチームメイトに見せるのが重要だと考え、日々練習に取り組んでいます。

それと同じで、他の自治体にはない歴史や食など独自の良さを生かした小浜だけの教育ができると、人口が少なく、小さなまちでもその規模以上に大きなことができるのかなと思います。

桑田 私は小中学生の頃、給食が大

えてくれる先生が多かったなと思います。

私は大学のサークル活動で女性として初の代表を務めた際、サークルのメンバーや先輩など周囲の人から「できるの？」みたいなことを言われることがあり、小浜ではそういうことがなかったなと。

地域全体で育む学び

小坂 皆さんそれぞれの経験を踏まえ、小浜や小浜の教育の特徴を一言で表すならこれだと思うものはありますか。

桑田 あたたかい。とにかく人があたたかいです。私は大阪から東京、東京から小浜に帰ってきたんですが、小浜はいるだけで落ち着きますし、地域のひととあいさつしたり、話したりなど、ちよつとしたことで人のあたたかさをとても感じます。幼い頃から過ごしてきた環境ということもありますが、都会での生活を経て、戻ってきたからこそ身に染みて感じます。

教育の面でも、先ほど村宮さんが話したように、先生がすごく熱心。私自身小学生の頃、勉強が苦手でし

好きだったので、これからも教育の一環で子どもが食の大切さを学ぶことができる機会があるといいなと思います。

小中学生の頃から、小浜が、魚や野菜、米など食べ物がおいしいまちだというところに目を向けることで、食べ物の好き嫌がなく、豊かで楽しい、幸せを実感できるまちになると思います。

村宮 私は、これからも残してほしいなと思うことと、これからできるいいなと思うことがあります。

まず、小中学校で行われる地域のフィールドワークや魅力探しのようなふるさと学習は残していつてほしいなと。小浜の小中学校は、地域内を少し歩けば、「らしさ」が見つかるくらい魅力がコンパクトに詰まっています。市外の人に伝えても誇らしい、新しい気付きになるような魅力にあふれている小浜市だからこそ、実際に歩いて自分の目で魅力を探ることができると思います。

また、私は、現在静岡県教育現場で、中間支援的な立場でさまざまなサポートを行う仕事をしています。小浜市には私のような人がいなくても、先生方をはじめとする大人が地域全体で、子どもたちに学びを提供

たが、苦手な児童に対しても一人ひとりで親身に向き合ってくれた記憶があり、当時、先生も忙しいから中々一人に付きつきりになるのは、難しいだろうなと思っていたこともあり、子どもがさらに、非常にありがたく感じました。

また、地域の人が声を掛けてくれたり、相談に乗ってくれたり、見守ってくれたり。地域ぐるみの教育の環境が整っている小浜だからこそかなと思います。

村宮 私は、小浜には目標になる大人が多いと思います。

地域も学校も、大人と子どもの距離が近く、わからないことがあったり、物事に一生懸命取り組んでいたりすると、助けてくれるという安心感が大きいです。

私が現在の教育関係での仕事をしたいと思ったのも、小中学校や高校で出会った先生や大人を見て、「こんな大人になりたい」と思ったことがきっかけです。先生や教員を目指した時期もあり、そこから学校や教育への関心が芽生えたと思うので、先生や教員に限らず、地域の中に、こんな大人になりたいと思える、尊敬できる人がたくさんいると思います。

し、生きる力を身に付けさせることができると思うので、こうした教育の形を市外の教育に携わる人に伝えていけるといいなと思います。

小坂 ありがとうございます。では、最後に皆さんから、「これからの子どもたちに身に付けてほしい力」を教えてください。

村宮 「自分の好きで生きる力」です。学生時代の豊富な経験をもとに、自分の興味を知って行動に移す。小浜の教育で培った個性を失うことなく、大きく羽ばたいてほしいと願っています。

桑田 探究心です。どんな些細なことでも興味を持ってもらえればと。興味を持ち、実際に行動に移すことは、なかなかできないこと。子どもの頃からそうした習慣を身に付けて小浜をもっと楽しいまちにしてほしいと思います。

中道 挑戦する力と諦めない力です。この2つがあればどこにいても自分の役に立つと思います。あとは楽しむこと。プレッシャーで思い詰めたリ、上手くいかなかったりして、落ち込んでしまふときこそ楽しむこと

中道 僕は、いい意味で人数が少ないところかなと思います。

僕が通っていた中名田小学校は、複式学級で人数が少なかったんですが、現在カレッジに通う大人数の学校を卒業した他の人の話を聞くと、人数が少ないのもいいことなのかなと思うようになりました。

桑田さん、村宮さんの話にあったように、人数が少ないことで、先生と生徒の距離が近く、わからないことや困ったことがあったときには、すぐに聞いて教えてもらうことができました。

また、少ないからこそ、意見や考えが違ふ人の意見を聞き、物事を進める必要があるかなと。アメリカに渡ってから学校の先生や野球のチームメイトなどに何でも聞くことでこれまで何とかやってこれたと思っています。

小坂 中名田地区という小規模のコミュニティで育ったことが、アメリカの大学という大きな舞台で学ぶ中道さんの現在に結びついていると思うと何だか不思議ですね。

桑田 私はフィールドワークなど現場での学びを重視した学習が印象に

▼地域の未来から教育を考える「こども未来会議」



で解決策を見出せることもあります。

小坂 皆さん、素敵な言葉をありがとうございます。本日は最初に「小中学校で最も覚えていたことは何でしょうか」とお聞きしました。よく覚えている出来事というのは、主体的に取り組んだり、感情を揺さぶられたりした経験であることが多いといわれます。小浜の教育と皆さんの現在の生き方がつながっているのを感じられてとてもうれしく思いましたし、これからそのような「記憶に残る教育」を創造していきたいと思っています。本日は貴重なお話をありがとうございました。

事業者の皆さんへ

償却資産の申告をお忘れなく

■問い合わせ 税務課 ☎ 64・6004

償却資産の申告は義務

固定資産税は、土地や家屋のほかに、償却資産（事業用資産）も課税の対象です。償却資産の課税には、申告制度がとられており、市内に償却資産を所有する個人・法人は、資産の多少に関わらず、毎年1月1日現在の資産の状況などを1月31日までに申告しなければなりません。

償却資産とは

事業を行う個人・法人（農業、漁業、アパート経営などの不動産貸付業を含む）が、その事業のために用いる資産（構造物・機械・器具・備品など）のうち、法人税法もしくは所得税法の規定による所得の計算上、損金や必要な経費に算入できるものを指します。

業種別の主な償却資産の例

喫茶飲食業	テーブル、いす、陳列ケース、カウンター、レジスター、電子レンジ、冷凍機、製氷機、厨房用品、テレビ、ジュークボックス、ステレオ、放送設備、冷蔵庫、日よけ、看板、門、塀、駐車場舗装路面 など
理容美容業	理容いす、洗面設備、湯沸かし器、タオル蒸し器、研磨機、ドライヤー、美顔器、エアコン、ヘアースチーマー、鏡、テレビ、ステレオ、看板、レジスター、待合いす、サインポール など
農業・漁業	ビニールハウス、乾燥機、 <small>もみすり</small> 機、育苗器、温室管理装置、器具や機械のアクセサリー、漁船、魚群探知機、養殖用設備、漁具・漁網 など
不動産貸付業	塀、フェンス、側溝、看板、駐車場などのアスファルト舗装、ライン引き、物置、自転車置き場、外灯、花壇、植え込み など
※次の資産は、固定資産税の償却資産の対象外です ■土地・建物（固定資産税の家屋として課税されているもの） ■自動車税・軽自動車税の対象となる自動車など ■使用可能期間が1年未満の資産 ■取得価額が10万円未満の資産で、一回で損金として算入されたもの（少額償却資産） ■取得価額が20万円未満の資産で、3年間にわたり経費として計上されたもの（一括償却資産）	

申告は税務課まで

市内に償却資産を所有する人は、税務課に申告書を提出してください。

■提出期限 2月2日㊥

申告書の様式などは、市HPもしくは税務課窓口で入手できます。



▲市HP

エルタックス eLTAXでもっと便利に

地方税の申告や申請、納税などの手続きをインターネット上でできるeLTAXを利用し、自宅やオフィスから申告の手続きを行うことができます。



▲eLTAX

eLTAXの利用や操作方法など詳しくは、ヘルプデスク（☎ 0570・081459もしくは☎ 03・6745・0720）に問い合わせてください。

令和8年4月任用 会計年度任用職員を募集します

職種	募集内容	募集人数	報酬	勤務時間	申込期限	問い合わせ
ボランティア・市民活動交流センター事務員	貸館業務や一般事務、電話・来客対応、書類作成補助など	1人	157,690円／月	週5日（週30時間） ㊦～㊧の9時30分～16時30分	1月23日㊥	移住定住交流課 ☎ 64・6009
コミュニティセンター主事	コミュニティセンター事務、まちづくり支援に関する業務など	4人程度	200,037円／月	週5日（週37時間30分） ※㊧・㊨の勤務あり。変則勤務、超過勤務の可能性あり		若狭総合公園 温水プール ☎ 53・0450
温水プール	指導員	1人	206,721円／月	週5日（週35時間） 平日の13時～21時 ㊧・㊨・㊩の10時～18時 ※変則勤務あり		
	監視員	4人	183,971円／月	週2日（週6時間） ㊦・㊫の10時～13時		市立図書館 ☎ 52・1042
	監視員	1人	1,213円／時間	週5日（週32時間30分） ※㊧・㊨の勤務あり		
市立図書館	司書	1人	206,212円／月	週5日（週37時間30分） ※㊧・㊨の勤務あり		子育て応援課（すくすく） ☎ 64・6013
	司書補助	1人	197,112円／月	週5日（週32時間30分） ※㊧・㊨の勤務あり		
	事務員	1人	1,213円／時間	週5日（週36時間15分） 9時～17時15分 ※超過勤務の可能性あり		
家庭相談員	相談業務や調査、訪問指導のほか、検討会議の開催、記録作成など	若干名	199,338円／月	週5日（週33時間45分） 9時30分～17時15分 ※超過勤務の可能性あり	1月30日㊥	市民課 ☎ 64・6017
母子・父子自立支援員	ひとり親家庭などの相談業務のほか、職業能力の向上や求職活動に関する支援	1人	185,591円／月	週5日（週37時間30分） 8時30分～17時 ※変則勤務、超過勤務の可能性あり		
放課後児童支援員	放課後児童クラブの運営に関する業務	2人程度	123,727円／月～	週5日 【学期中】13時30分～18時 【児童の長期休暇期間中】8時～18時のうち、7時間30分 ※変則勤務、超過勤務の可能性あり		
マイナンバーカード事務補助員	窓口業務や電話対応、パソコンでのシステム操作・入力作業などの事務補助	2人	1,213円／時間	週5日（週37時間30分） 8時30分～17時 ※変則勤務、超過勤務の可能性あり	1月31日㊧	食文化館 ☎ 53・1000
食文化館	管理運営員（ミュージアム担当）	2人	213,850円／月	週ごとに㊠㊡を交代 ㊠ 8時30分～17時 ㊡ 9時30分～18時 ※㊧・㊨・㊩は原則勤務		
	管理運営員（インフォメーション担当）	1人	197,112円／月			
■会計年度任用職員とは、年度内を任期とする非常勤の公務員です ■掲載内容は令和7年12月17日現在。今後変更の可能性があります ■一部の職種を除き、社会保険に加入できるほか、通勤費、期末手当、勤勉手当が支給されます ■資格が必要な職種もあります。詳細はハローワークの求人情報に掲載します						

帯状疱疹ワクチンの
接種期限が迫っています

健康応援課（いきいき） ☎ 64・6093

令和7年度の対象者が接種を希望する場合は、期限までに接種してください。

▶**接種期限** 3月31日㊥

▶**対象** 次のいずれか

①令和8年3月31日時点で、65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳・100歳以上の人

②ヒト免疫不全ウイルスにより、日常生活がほとんど不可能な程度の障がい（注）を有し、令和8年3月31日時点で、60～64歳の人

※①は5月上旬に予診票を送付済み。

②は申し込みが必要です

※組換えワクチンを接種する場合は2回の接種が必要です。1月31日㊥までに1回目のワクチンを接種してください

給与支払報告書を
提出してください

税務課 ☎ 64・6004

事業所や個人事業主は、令和7年1月1日～12月31日の期間の給与支払対象者全員の給与支払報告書を作成し、市へ提出する必要があります。 ※中途就退職者・アルバイト・事業専従者の分も、該当欄にその旨を記入し提出してください

▶**提出先** 税務課

▶**提出期限** 2月2日㊥

ふくじ 福滋県境交流促進協議会は
会員市町のイベントを
応援しています

未来創造課 ☎ 64・6148

滋賀県と福井県が県境を越えて協力し、会員市町で開催するイベントの情報を発信しています。

▶**会員市町** 小浜市、敦賀市、美浜町、若狭町、おおい町、高浜町、長浜市、米原市、高島市

※詳しくは上の二次元コードから

県交通災害等遺児就学支度金
（小・中学校就学児分）

子育て応援課（すくすく） ☎ 64・6139

県では、生計を共にする父や母、未成年後見人を交通事故などで亡くした交通災害等遺児が、小・中学校に入学するときに、遺児の保護者に就学支度金を支給します。

▶**対象** 次のいずれかに該当する遺児の保護者

①市民税の所得割が課税されていない世帯に属する

②生活保護を受けているもしくはその世帯に属する

▶**申し込み** 1月30日㊥までに子育て応援課（すくすく）に連絡

胃がん検診で早期発見を

健康応援課（いきいき） ☎ 64・6093

胃がんは50代以降に罹患する人が多く、がんによる死亡原因の上位です。早期発見し治療につなげましょう。

	X線検査	胃内視鏡検査
対象	50歳以上で偶数年齢の人	50歳～68歳で偶数年齢の人
自己負担額	1,000円	3,000円
期限	2月28日㊥	

※対象は令和8年3月31日時点

※診療日は指定医療機関ごとに異なります

※検診を受けるには市が発行する受診券が必要です。受診券を持っていない人は、問い合わせてください

がん検診、特定・基本健診受診券の
使用期限が迫っています

健康応援課（いきいき） ☎ 64・6093

まだ検診（健診）を受けていない人は、期限までに受診してください。

▶**使用期限** 2月28日㊥

※診療日は指定医療機関ごとに異なります

※受診を希望する人で、受診券を持っていない人は、問い合わせてください

フレイルサポーター養成講座

地域包括支援センター ☎ 64・6015

年齢とともに心身の活力が低下する状態「フレイル」を予防する、フレイルサポーターを養成します。

▶**とき** 1月21日㊥9時30分～15時30分 ※昼食付き

▶**ところ** 健康管理センター（南川町）

▶**対象** フレイルの予防に関心がある人

▶**定員** 先着20人

▶**内容** フレイルの基礎知識や、フレイルチェックの支援方法の習得

▶**申し込み** 地域包括支援センターに電話

▶**申込期限** 1月14日㊥

スキー教室

市スキー連盟事務局

▶**とき** 2月1日㊥9時～15時

▶**ところ** 今庄365スキー場（南越前町）

▶**参加費** 1,000円 ※リフト券代など除く

▶**対象** 若狭地域在住の小学生以上

▶**定員** 先着30人

▶**申し込み** 市スキー連盟のHPから申し込みまたは同HPから申込書を印刷して問い合わせ先へ郵送

▶**申込期限** 1月24日㊥

▶**問い合わせ先** 市スキー連盟事務局 〒917・0076 小浜市湯岡17-25 ビッグ釣具店内 横山さん ☎ 52・3429 もしくは ☎ 090・2105・4949

お天気キャスターと作る！
マイ・タイムライン作成講習会

防災防犯課 ☎ 64・6006

▶**とき** 2月1日㊥9時30分～11時30分

▶**ところ** 市庁舎（大手町）

▶**内容** 一人ひとりの防災行動計画（マイ・タイムライン）を参加者同士で話し合いながら作成

【講師】土井邦裕気象予報士

▶**申し込み** 防災防犯課に電話もしくは上の二次元コードから

▶**申込期限** 1月20日㊥

おすすめ体験
「レンジでフォンダンショコラ」

食文化館 ☎ 53・1000

▶**とき** 1月18日㊥・24日㊥ 13時～16時ごろ

▶**ところ** 食文化館（川崎3丁目）

▶**参加費** 4個500円／セット

▶**定員** 各回先着20セット

※うち各回10セットは予約優先

※予約は食文化館に電話もしくは上の二次元コードから

めざせ100さつ！読書マラソン2026

市立図書館 ☎ 52・1042

▶**開催期間** 1月5日㊥～3月30日㊥

▶**ところ** 市立図書館（白鬚）

▶**内容** 本を100冊借りた人にオリジナルグッズをプレゼント。さらに50冊借りるごとに賞品が当たる抽選会に応募可能



まちの駅旭座の休業日を変更します

まちの駅旭座 ☎ 52・2000

11月25日㊥発行の広報おばま12月号「年末年始の業務ガイド」に掲載しました休業日を、下のとおり変更します。

【変更前】12月29日㊥～1月3日㊥

【変更後】12月29日㊥～1月4日㊥

はたちのつどいに伴い、
道路の通行を制限します

生涯学習スポーツ課 ☎ 64・6033

「小浜市はたちのつどい2026」の開催に伴い、文化会館に接する道路を一方通行にします。また、文化会館周辺での停車はやめてください。

皆さんの理解と協力をお願いします。

▶**とき** 1月11日㊥11時45分～13時



季節の調理体験
「学校給食」

食文化館 ☎ 53・1000

▶**とき** 1月10日㊥・25日㊥ 10時～13時ごろ

▶**ところ** 食文化館（川崎3丁目）

▶**内容** 【メニュー】きなこ揚げパン、ツナサラダ、打ち豆入りミネストローネ、梅ゼリー

▶**参加費** 1,200円

▶**定員** 各回先着16人

▶**申し込み** 開催日の5日前までに、食文化館に電話もしくは上の二次元コードから

くらしの情報

「お知らせ」「イベント」「募集」など暮らしに役立つ情報を掲載します

市庁舎の時間外窓口をマイナンバー
カード専門窓口に変更します

市民課 ☎ 64・6017

対応業務がマイナンバーカードの交付や暗証番号の変更、電子証明書の更新などに限られます。

▶**変更日** 1月9日㊥～

▶**窓口時間** 祝日や年末年始を除く毎週㊥17時15分～18時30分

※戸籍や住民票などの証明書は、コンビニのマルチコピー機で発行できます

若者を狙った犯罪や
消費者トラブルにご注意を

防災防犯課消費生活相談室 ☎ 53・1140

社会経験の浅い若者は、インターネット上のウェブサイトやSNSを通じて、犯罪や消費者トラブルに巻き込まれる危険性が高い傾向にあります。次の対策で被害を防ぎましょう。

●少しでも怪しいと感じるウェブサイトやSNSでの取引はしない

●「簡単に稼げる」、「もうかる」などを強調する広告をうのみにしない

▶**相談先** 防災防犯課消費生活相談室

もしくは消費者ホットライン ☎ 188

※消費者庁LINE公式アカウント「若者ナビ!」の登録は上の二次元コードから



(記載がなければ参加費無料。※印は要予約)

催し	内容	対象	とき	ところ・問い合わせ
おはなし会と作ってあそぼ!	【おはなし】パンどろぼう v s にせパンどろぼう、だるまさんが【こうさく】よくまわるコマをつくろう	幼児～小学生とその保護者	10日④ 11時～	市立図書館（白鬚） 市立図書館 ☎ 52・1042
おばま児童文学会「風夢」のおはなし会	手あそびうた、絵本などの読み聞かせ【テーマ】おにはそと ふくはうち	未就学児とその保護者	24日④ 11時～	
子育て講演会※	【テーマ】食事について	1歳6カ月までの子の保護者	14日⑥ 10時～11時	健康管理センター（南川町） 子育て支援センター ☎ 64・6134 ※開催1週間前の月曜日から受け付け ※子育て講演会のみ開催3週間前の月曜日から受け付け
新聞紙で遊ぼう※	みんなで新聞紙を使って遊ぼう	1歳6カ月以上の未入園児とその保護者	21日⑥ 10時～11時	
誕生会※	1月生まれの友だちみんなで祝いましょう	1月生まれの未入園児とその保護者	28日⑥ 10時～11時	
あそびの広場	保育園の流れに沿った集団あそび【持ち物】母子手帳、飲み物・おもちゃなどのお出かけグッズ	1歳5カ月以降の子とその保護者	9日⑤ 9時30分～11時 ※受け付けは9時45分まで	
授乳育児相談	授乳全般の相談、体重・ほ乳量の測定	授乳中の保護者とその乳児	13日⑥・27日⑥ 10時～12時 ※受け付けは11時30分まで	健康管理センター（南川町） 健康応援課（いきいき） ☎ 64・6129
スクスク元気っ子教室	離乳食の試食や栄養士による相談のほか、身体計測、保健師による発育・発達・育児に関する相談【持ち物】母子手帳、飲み物・おもちゃなどのお出かけグッズ	未就学児とその保護者	27日⑥ 9時30分～11時30分 ※受け付けは10時まで	
ママヨガ	子育て中のお母さんの心と体のメンテナンスヨガ。参加費 500 円	子育て中の母親	8日⑥・22日⑥ 10時30分～11時30分	雲浜コミュニティセンター（城内2丁目） ヨガビクニックMAMAサークル 左の二次元コードから
プレパパ＆プレママ講座※	栄養・妊娠編「妊娠中からのからだづくり」「様々な出産方法について」「妊娠中の口腔ケアの重要性、子どもの歯並びについて」【持ち物】母子手帳、飲み物・おもちゃなどのお出かけグッズ	妊婦とそのパートナー	24日④ 10時～12時	働く婦人の家（大手町） わかさ助産師会「うぶごえ」 ☎ 090・2128・6299 ※左の二次元コードから受け付け

健康生活のとびら

子どもの食物アレルギー、正しく知って安心を

「子どもがご飯を食べたら体が赤くなったけど、これって食物アレルギー?」
そのような不安を感じたことはありませんか。食物アレルギーとは、特定の食べ物摂取した際に体の免疫が過剰に反応し、じんましんや嘔吐、呼吸困難などを起こす病気です。小児では特に、卵、牛乳、小麦の三大原因食物が多く、症例を占めます。

症状は食後数分～2時間以内に出ることが多く、皮膚のかゆみや発疹、唇やまぶたの腫れ、咳、腹痛、嘔吐などです。重症の場合は、血圧低下や意識障害を伴う「アナフィラキシーショック」に至ることもあり、エピネフリン自己注射（エピペン®）の処方が必要な場合があります。

診断方法

診断には、医師の問診に加え血液検



小児科
亀川昌平 医師

杉田玄白記念 公立小浜病院
問い合わせ ☎ 52・0990

治療の基本は原因食物の除去ですが、完全除去を続けると本来克服できるはずのアレルギーが治りにくくなる場合があります。そのため、医師の指導の下、安全に食べられる範囲を見極め、少量から摂取を進める経口免疫療法などが行われます。多くの子どもは成長とともに改善するため、医療機関や学校と連携し、安心して生活できる環境づくりが大切です。



市民一体でつくる教育大綱

今回からは、半歩先を行く小浜市の新たな取り組みを紹介します。

▼子どもが実行委員を務める



▲7月に行われた「こども未来会議」

「潤う小浜」の実現へ

小浜市教育長 小坂康之

皆さんは「教育大綱」をご存じですか。市の5年間の教育目標を示したもので、これをもとに教育活動が計画されます。

策定年の今年度は、「子どもが主役の教育」の理念のもと、子ども自身が学びをデザインすることを目指し、子どもや教員、保護者、地域住民、有識者の皆さんとともに、目標設定や評価に加わることで、策定に取り組んでいます。7月と12月に実施した「こども未来会議」では、「将来幸せになるためにどんな力が必要か?」との問いに対し、子どもたちからは「挑戦する力」との声が挙がりました。すごいですよね。子どもたちはよくわかっています。

子どもたちを未熟なものとして捉えず、共に学んでいこうという姿勢が、未来を創る教育を実践する上で大切だと思っています。



▲市内の小中高校生を募集し開催



食事を楽しく 高校生レストラン
生活創造科の3年生8人が健康を意識したメニューを考案。来店した40人に振る舞う(若狭東高校・11月8日)

火の用心 防火フェスティバル

年長児37人が寸劇やクイズ、車両見学などを通して防火の大切さを学ぶ(浜っ子こども園・11月14日)



厳選した若狭かれいを皇室へ
皇室へ献上する若狭かれいを小浜魚商協同組合が丁寧に選別し箱詰め(川崎1丁目・12月3日)

Photo News

フォトニュース



内外海をきれいに 海ごみで演奏会

1年生の児童8人が「ふるさと学習」の一環で地元住民に演奏を披露(内外海小学校・11月9日)



第67回商工優良従業員表彰式

市内企業に勤務し地域社会の発展に貢献した41人を表彰(小浜商工会議所・11月26日)

第33回全国中学校駅伝大会出場を激励

同大会で小浜中学校(男子)が11位、小浜第二中学校(女子)が38位の結果を収める(市庁舎・12月8日)



O B A M A 日 和

小浜中学校 吹奏楽部

仲間と一緒に演奏する
楽しさを大切に

1・2年生合わせて40人が所属する小浜中学校吹奏楽部は、コンクールをはじめ、校内外の式典やイベントなどで演奏を披露。7月に行われた福井県吹奏楽コンクールでは、最高賞の金賞を16年ぶりに獲得しました。

姉の影響で同部に入部し、部長を務める2年生の木村まなか(写真前列左から5番目)。演奏する姿に惹かれたことがきっかけで、同部では打楽器を担当します。

「先輩と後輩の垣根がなく、明るい雰囲気です。活動している」と、同部の印象を話す木村さん。「全員で一つの演奏をつくり上げるのは難しいこともあるが、うまく演奏できたときは会場が盛り上がり、部員のみんながいい表情になって楽しい」と、吹奏楽の魅力を語ります。

木村さんは、「来年度も金賞が受賞できるよう、日々の練習を大切にしたい」と、今後の意気込みを語りました。

小浜で歩む ～事業・制度の活用事例～

小浜市林道維持管理地域支援事業補助金

【対象】行政区や各種団体、林業経営者、森林所有者など

【対象経費】林道の維持管理に要する機械・重機のリース料や原材料購入費、委託費など

【問い合わせ】農林水産課 ☎ 64・6024



いちざかせんりんとくみあい
一坂線林道組合

池田金一さん(76歳)



林道の維持管理を通じ
里山に関心を

小屋区の山の所有者が共同で林道の維持管理を行う一坂線林道組合では、補助金を活用し、毎年、林道約50・60kmのコンクリート舗装を行っています。

「舗装箇所の視察には日中手の空いている数人で、重機での整地作業やコンクリートの流し込みなど人手が必要な作業には10人程度で、協力して林道の整備に取り組んでいる」と、同組合の池田さんは話します。

「生活資源としての山が身近にあった昔と異なり、時代とともに関心が薄れ、所有する山の状況を把握していない人も多い」と、里山管理の現状を憂う池田さん。一方で、「作業への協力を呼びかける中で、新たな人とのつながりが生まれるとともに、山に目を向ける人が少しずつ増えていっている」と、実感する変化を話し、「今後でもできる限り組合としての取り組みを続けられれば」と、思いを語ってくれました。

1月の休館日

市立図書館	1日(木祝)～4日(日)、6日(火)、 12日(月祝)、13日(火)、18日(日)、 20日(火)、27日(火)、28日(水)
温水プール	1日(木祝)～5日(月)、13日(火)、 19日(月)、26日(月)
若狭図書学習 センター	1日(木祝)～3日(土)、5日(月)、 13日(火)、19日(月)、 22日(木) (2階のみ)、26日(月)

1月の休日当番医 9時～17時

1日(木祝)～4日(日)	医療機関へ直接問い合わせまたは小浜病院 の救急外来を受診
11日(日)	★田中病院 (遠敷) ☎ 56・5353
12日(月)	★にしお内科クリニック(南川町) ☎ 53・2407
18日(日)	★本馬医院 (水取一丁目) ☎ 52・2233
25日(日)	★木村医院 (四谷町) ☎ 53・1260

★：小児患者は公立小浜病院（大手町）が8時30分～12時30分に対応

1月の各種相談

(※印は要予約)

相談名	内容	とき	ところ・問い合わせ
弁護士法律相談※	法律問題全般の相談 ※1週間前の9時から予約可	6日(火) 13時30分～15時	働く婦人の家（大手町） 問 福井弁護士会 ☎ 0776・23・5255
高齢者向け法律相談※	遺産相続や土地・金銭問題などの相談	15日(木) 13時～16時	県社会福祉協議会嶺南支所（白鬚） 問 県社会福祉協議会嶺南支所 ☎ 52・7833
弁護士法律相談※	消費生活に関する相談	15日(木) 14時～16時	県嶺南消費生活センター（白鬚） 問 県嶺南消費生活センター ☎ 52・7830
司法書士法律相談※	消費生活に関する相談	22日(木) 14時～16時	
小浜市社会福祉協議会 ワカサリーガルパートナーズ なんでも相談会※	弁護士、司法書士、社労士、行政書士、税理士が連携して対応する相談会	25日(日) 13時～16時	サン・サンホーム小浜（遠敷） 問 田中事務所 ☎ 0770・56・5533
梅毒、性器クラミジア、 エイズ、肝炎の検査・相談※	問診や血液・尿検査 ※尿検査は性器クラミジアのみ	5日(月)、19日(月) 9時～11時	若狭健康福祉センター（四谷町） 問 若狭健康福祉センター ☎ 52・1301 ※検査は右の二次元コードから申し込み
精神保健相談※	心の病気やアルコール問題、認知症に関することなどの相談	6日(火)、20日(火) 10時～11時30分	
心配ごと相談	介護など生活での困りごとの相談	14日(水) 13時～16時	サン・サンホーム小浜（遠敷） 問 市社会福祉協議会 ☎ 56・5802
こころの相談	心の悩みに関する相談	毎週(水) 10時～16時 毎週(金) 12時～17時	つみきハウス（後瀬町） 問 つみきハウス ☎ 53・1190
臨床心理士こころの相談※	気分の落ち込みや不眠など、心・体の状態などに関する相談 ※開催の1週間前までに要予約	13日(火) 13時30分～15時30分	市庁舎（大手町） 問 地域福祉課（あいあい）障がい者支援室 ☎ 64・6012
特設人権相談	悩み・心配ごとの相談	20日(火) 13時～15時	働く婦人の家（大手町） 問 福井地方法務局小浜支局 ☎ 52・0238
女性向け出張就業相談	仕事に関する不安解消やキャリアアップなどの相談	7日(水) 10時30分～15時30分	働く婦人の家（大手町） 問 ふくい女性活躍支援センター ☎ 0776・41・4244
出張年金相談※	年金に関する相談	8日(木)、22日(木) 10時～12時、13時～15時	文化会館（大手町） 問 敦賀年金事務所 ☎ 0770・23・9905
「福祉のお仕事」移動相談	福祉の仕事の就職に関する相談	21日(木) 13時30分～15時30分	ハローワーク小浜（後瀬町） 問 県社会福祉協議会嶺南支所 ☎ 52・7833
就職や仕事の相談※	キャリアアドバイザーによる就職や仕事に関する悩み・不安などの相談	毎週(水)・(金) 9時～17時 (12月29日～1月3日、祝日を除く)	働く婦人の家（大手町） 問 ミニジョブステーション小浜 ☎ 52・3542
行政相談※	行政に関する手続き・苦情などの相談	20日(火) 13時30分～14時30分	市庁舎（大手町） 問 市長公室 ☎ 64・6001
ITのビジネス活用に 関する相談	Officeソフトの操作指導やSNSを使った広報アドバイス、PCトラブルなど、IT全般の相談	平日 10時～16時 (12月29日～1月3日を除く)	県産業情報センター嶺南支所（白鬚） 問 県産業情報センター嶺南支所 ☎ 52・1500



高齢者いきいき情報

『カフェ・ぽ～れ』

時 16日(金) 10時～11時30分
所 小浜コミュニティセンター（日吉）
内 落語や昔のお座敷遊びを楽しみましょう
金 100円
問 さかがみかずよ 坂上和代さん ☎ 090・5686・4147

『おひさまカフェ』

1月は開催しません。
次回は2月17日(火)開催予定です。

【今月の表紙】

お水送りに向けて 竹起こし



(神宮寺・12月7日)

地元住民や小浜美郷小学校6年生の児童など約80人が参加。神事で使われる大たいまつなどの原材料の調達を通して同神事の歴史に触れる

「広報おばま」
広告随時募集中

毎月12,000部発行
1枠(縦5㌘ 横5.5㌘) 10,000円
1か月単位のスポット掲載も

■問い合わせ 市長公室
☎ 0770・64・6001
✉ kouhou@city.obama.lg.jp



福井県知事選挙

1月25日(日) 投開票

小浜市健康管理センターに 期日前投票所を新たに設置します

- 期間 1月23日(金)・24日(土)
- 場所 小浜市健康管理センター(南川町)
1階研修・会議室
- 時間 9時～17時

投票をもっと身近に！

通常どおり、市庁舎にも期日前投票所を設置します

- 期間 1月9日(金)～24日(土)
- 場所 市庁舎(大手町)1階市民ホール
- 時間 8時30分～20時



明るい選挙イメージキャラクター
「選挙のめいすいくん」

編集後記

●新しい年を迎えるにあたり1年を振り返り▶振り返れば何かと変化の多い年だった気が▶仕事では今の部署に異動し戸惑いながらも市内のさまざまな場所でも多くの人と交流▶至らないところは多々ありますが新しいことに取り組めたことに感謝するとともに、来年は変化をもっと楽しめるような1年にしたいです(辻)

●先日私用で草津市に足を運んだついでに「びわ湖大津館」へ▶平成10年にホテルとしての営業を終えた同館の歴史ある近代建築や庭園など見どころを満喫▶その際公開中の映画のロケ地であることを知り観てみようかなと新たな興味が▶日常の小さな気付きやきっかけを大事にしようと再認識する出来事でした(吉)

人の動き(12月1日)

【人口】27,229人(前月比-43人) 【男性】13,421人
【世帯数】12,191世帯 【女性】13,808人

小浜市の役立つ情報を発信中！

市公式 LINE

市政情報や防災情報、イベント情報などをお知らせ。受信設定を活用すれば、興味のある分野の情報のみを受け取れます



事業やお知らせなど

HP



災害や避難情報

市防災メール



市内の出来事やお知らせなど

X



フェイスブック



Instagram

